



コミュニティ・スクール 令和8年1月9日

## 吉原一中だより 1月号

校訓 「豊かな情操 高い知性 強い体位」  
学校教育目標 「あこがれ チャレンジ 笑顔」  
重点目標 「わたしも大切 あなたも大切」

### ～あけまして おめでとうございます！～

今年も暖かなご来光に包まれ、新年を迎えることができました。本年も、より実りある充実した一年になるよう、家庭や地域と連携し、教育活動に励んでいきたいと考えております。本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。

2026年は午年です。「馬（午）」から連想されるキーワードには、「スピード」「行動力」「社交性」「勢いや力強さ」などがあります。そんな午年は、エネルギーに満ち溢れ何事にもチャレンジするのによい年と言われています。そんな午年のスタートにあたり、校長からのメッセージを紹介いたします。



### ～「一年の計は元旦にあり」～

「一年の計は元旦にあり」といいますが、何か目標や計画を立てられたでしょうか。

12月に保護者を対象として行いました「中学の間にどんな力をつけてほしいか」という質問に対して、学力面以外で多かった回答に、

- ・「自分で考えて行動する」といった自律や自立に関する言葉
- ・「粘り強く頑張る」「メンタルを強く」などといった困難を乗り越える精神的な強さに関する言葉
- ・「仲間を大切にする」「礼儀」「コミュニケーション能力」などといった人間関係能力に関する言葉

が多くありました。自立した大人になるための土台を築くことが大切だという思いが伝わってきます。

生徒たちが学び、育つ場は様々ありますが、集団で学び生活する場である学校は、「仲間と関わる生の体験」ができる場です。生成AIの普及やSNSによる情報過多のこの時代、画面越しの情報はとても効率的で便利ですが、「生の体験」から得られる実感は、自立した大人に向けて成長していくのに大変重要なものだと感じます。もちろん、心が躍ったり温かくなったりするようなポジティブな体験ばかりでなく、ネガティブに感じる体験をすることもあります。それでも生徒たちは、学校を、みんなが楽しく笑顔でいられる場にしたいと願っています。その願いは、私たちも同じです。

令和8年元旦、子どもたちの今と未来を見据え、すべての生徒にとって、より良い学びと成長があるよう、私たち学校職員がすべきこと、できることは何かと問い合わせていきたいと思いました。

今年も、よろしくお願ひいたします。

校長 檜木 小重美